

全商品 アレクサアプリ対応

AIスピーカー「アレクサアプリで商品検索」が可能

サンプル帳の新機能

椅子とベッド用資材のリーディングカンパニー、シンコー株式会社は AI スピーカーで商品検索や商品情報を答えるアプリを開発し、1月6日に発刊されるテキスタイル新サンプル帳「FURNISHING TEXTILE 2019-2021」にて正式運用を開始する。

「すわる」と「ねる」の資材のシンコー株式会社(本社:愛知県名古屋市中川区、代表取締役社長:[矢追和彦])は、人工知能を使ったアレクサアプリで自社製品を顧客が検索できるサービスを開始する。同社の顧客である設計事務所や製造メーカー、デザイナーなどを対象に、アプリを活用した素材検索は業界で初の試みとなる。品番・商品名を問いかけるだけで商品詳細を簡単に確認することが出来る。

サンプル帳でアレクサアプリ? AIスピーカーで何が出来るの?

ユーザーがスマホなどでアマゾンアレクサのアプリをダウンロードして使用。アレクサを立ち上げると、音声入力で品番や製品名を言えばとシンコーのレザー、テキスタイル製品共に商品詳細の検索が出来る。

Alexa スキルの「シンコーレザー検索」、「シンコーテキスタイル検索」はカタログに掲載されている商品コードを音声入力すると、商品名とその商品の上代や幅などの情報を答えるスキル。Amazon Echo シリーズやスマホの Alexa アプリに「アレクサ レザー検索を開いて」、「アレクサ テキスタイル検索を開いて」と話しかけ4桁、或いは3桁の商品コードを開けば商品の名前、上代、幅など商品情報を Alexa が教えてくれます。

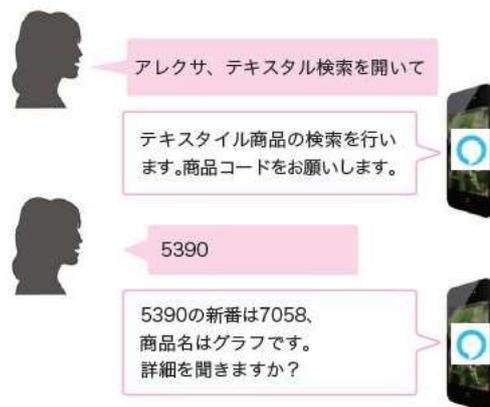


お手持ちのスマートフォンからも使えます!



旧品番にも対応可能。新旧問わず商品コードを話しかけるだけ！

古いサンプル帳の商品コードでも、新しい商品コードの番号と商品名、値段、幅などの情報を答えてくれるので新しいサンプル帳の商品コードを調べる作業は不要。「指定図面に旧品番が記載されている。現行品番では何？」、「旧品番と新品番と照合する為だけに古いサンプル帳を保管している。」などユーザーの皆様からの声も一気に解消。



サンプル帳は「閲覧するモノ、開くモノ」から「聞くモノ」の時代へ。

設計事務所や若手デザイナーの皆さんを中心に既に実物サンプルよりも電子カタログが主流の時代。シンコーは更に一歩先へ行く、「聞くサンプル帳」、「問いかけるサンプル帳」を想定。手を止めることなく、アレクサアプリに問いかけるだけで欲しい情報をアレクサが教えてくれる。

今回の機能はまだ序章。更なるAI化の布石に過ぎません。シンコーはお客様と一緒に進化し続けます。

※各自で設定は必要です。Amazonのホームページでカテゴリーボタンを押して、Echo&Alexaをポイントし、Alexaアプリをクリックしたら追加出来ます。詳しくはAmazon Alexaアプリをご確認下さい。

【シンコー株式会社について】

<http://www.sincol-n.co.jp>

1966年5月設立

代表者 矢追和彦

〒454-0836 名古屋市中川区福船町3-1

事業内容:インテリア資材の企画、販売

【お客さまからのお問い合わせ先】

シンコー株式会社 イズライフ事業部 杉浦

TEL:052-362-2711 e-mail:sugiura@sincol-n.co.jp

【本リリースに関するお問い合わせ先】

シンコー株式会社 社長室 広報 大西

TEL:052-362-2711 e-mail:oonishi@sincol-n.co.jp